

(かていすう)

がっこう
学校だより

「お」
もいやる

「か」
んしやる

「べ」
ストをつくる

れいわ ねん がつ にち
令和6年1月22日 No.22



〒575-0001 四條畷市砂一丁目7番26号

四條畷市立岡部小学校 校長 木村 実 電話 072-879-2191



がっこうきょういくもくひょう けんこう かんが なかよ
学校教育目標:健康で よく考え 仲良く がんばりぬく子

がっこうきょういくじ こしんだん きょうりよく
学校教育自己診断にご協力、ありがとうございました。

が 1月12日(金)から18日(木)までの間、保護者の皆様におかれましては、学校教育自己診断アンケートについて、ご協力いただきありがとうございました。集計した結果を2ページに掲載していますのでご覧ください。22号では保護者集計を掲載します。

さくねんどとくらべて 数値が好転した項目もあれば、改善が必要と判断された項目もあります。保護者のご意見は、お子さんの学校でのようすについて話す内容など、お子さんのようすを見て決まると考えています。子どもたちがより良く成長できるよう、この声を受け、今後の学校教育推進の見直しの参考にさせていただきます。

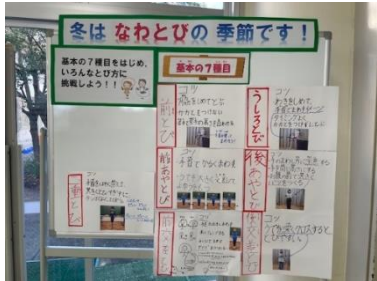
また、アンケート方式をフォームでさせていただきました。保護者の利便性を考慮してのことですが、大きな混乱もなかったことから、今後も学校独自でアンケートを実施する場合はこのフォームを活用させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



概要 アンケート実施期間 令和6年1月12日(金)～1月18日(木)

回答数 366 (回答率82.6%)

『冬はなわとびの季節です!』 体育委員会の取組み



↑ 体育委員会の掲示物です

下足室前に、体育委員会がなわとびの跳び方について詳しく書いたものを掲示してくれています。基本の7種類の跳び方について、写真入りで説明し、跳び方のコツも掲載されています。今週は、業間の時間に苦手な技に挑戦するなわとび集會も予定しています。なわとびをして体を温め、体力作りに励みましょう。

地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

はんしんあわじだいしんざい
阪神淡路大震災から
29年、そして今年(令和6年)は元旦から能登半島地震が発生し、甚大な被害や被災者のようすが毎日報道されています。また、南海トラフ地震も30年以内の発生確率が



↑ 運動場に全員が避難した時のようすです

70～80%と予測されるなか、いつ地震が起きても不思議ではない状況であり、日ごろからの備えが大切となってきます。岡部小学校では、有事の際に備えて1月19日に地震発生を想定した避難訓練を行いました。今年の訓練では、休み時間中に地震が発生したと想定し、先生の指示だけでなく、子どもたち一人ひとりがその場でどうすべきかを考える機会を設けました。運動場で遊んでいる子、廊下を移動している子、教室で本を読んでいる子など様々でしたが、頭を抑えたり、机の下にもぐったり、その場にに応じた行動をしていました。その後「全員運動場に避難してください」という放送の指示で、全員が運動場に集まってきました。少しざわつく中、「訓練だから静かにしよう!」という声が高学年から聞こえてきたのがとても素敵でした。訓練は、いざというときに自分の命を守る大切なものです。これからも真剣に取り組んでいきましょう。

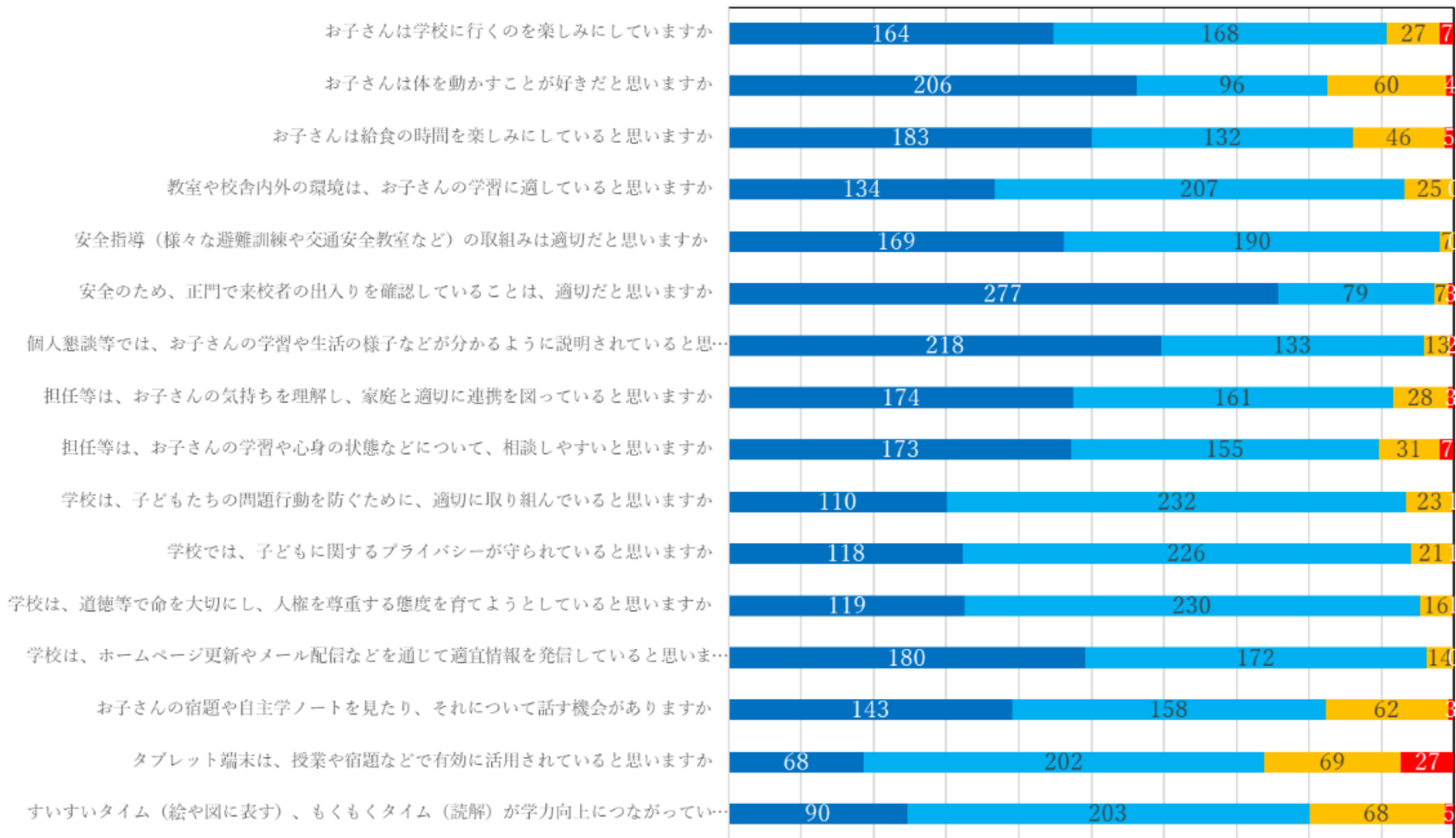
地震関連で、1月17日(水)に災害時の食事を知らせてもらい、防災への意識を高めることを目的として、給食で学校給食用非常食『救給カレー』が提供されました。ごはんが入っているレトルトパウチカレーで、常温でいただきました。子どもたちの感想を聞く中、「石川県に送ってあげたらいいの」との声に、優しさを感じつつ、子どもたちも震災を身近に感じたのではないのでしょうか。



↑ 救給カレーの実物です

【令和5年度学校教育自己診断 保護者用集計】 366人回答 (回答率79.2%)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない